

社団法人 日本ボディビル連盟
平成20年度 第2回 総会 議事録 (抜粋)

- ◇ 日 時 平成21年3月1日(日) 午後2時30分～午後5時20分
- ◇ 場 所 国立スポーツ科学センター 大研修室B
- ◇ 会長挨拶

平成20年度第2回総会に皆様遠方よりご出席頂きましてご苦労様です。今回の総会は予算総会ですから、21年度の事業計画及び事業予算のご審議を宜しく申し上げます。また今年の大きなテーマとしては政府の方針である全ての公益法人の見直しということです。これはスポーツ団体も例外ではありません。体協、JOCに加盟している団体も全て見直されることになりました。どのように見直されるかという、公益法人と一般法人に分かれ、公益法人だと税制の優遇措置が受けられることがあるけれども、一般法人になるとほとんど一般の企業並みになってしまいます。当連盟は公益法人としてもここまで歩んできましたので、他の競技スポーツ団体と足並を揃えて公益法人に認定されるように努力して申請していきたいと思っております。

それから、私事に渡って誠に恐縮ではございますが、昨年秋の叙勲の時に旭日双光章を戴く光栄に浴しております。その祝賀会を発起人の方たちに開催して頂き、また関係団体の方たちに多数ご出席頂いて盛大に催させて頂いた事は誠に感謝の極みでございます。心から皆様に御礼申し上げます。これも私、スポーツ振興の功労ということで戴いておりますけれども、何と云ってもこのボディビルを昭和30年から育成して、JOCに入り、アジア競技大会にも出場し、もろもろの健康づくりにボディビルが活用されつつあるということが核となっていると思っております。

この受章は皆様と共に一緒に戴いたというつもりでおります。これからも皆様と一体となってスポーツ界、ボディビル界の発展に寄与する所存です。ご協力を宜しくお願いする次第です。

- ◇ 議長選出 定款第22条により、議長は玉利齊会長を選出。
- ◇ 定足数の確認 正会員総数60名。本日出席正会員28名、委任状による出席正会員32名、合計出席正会員60名により正会員総数の過半数を上回り、定款第24条に基づき総会は成立。

【第一号議案】平成20年度後期事業報告

1. 国内事業

- (1) 2008年第54回男子日本ボディビル選手権大会
2008年第26回女子日本ボディビル選手権大会
開催日:平成20年10月5日(日)
会場:大阪 厚生年金会館 芸術ホール
- (2) JOC ジュニアオリンピックカップ
2008年第20回日本ジュニアボディビル選手権大会
2008年第3回全国高等学校ボディビル選手権大会
開催日:平成20年10月5日(日)
会場:大阪 厚生年金会館 芸術ホール
- (3) 2008年第20回日本マスタースボディビル選手権大会
開催日:平成20年9月28日(日)
会場:東京都 江戸川区総合区民ホール(タワーホール船堀)
- (4) 第31回ユニセフハンド・イン・ハンド
恵比寿ガーデンプレイスにて
連盟関係者のボランティアにて会場警備、並びに募金活動

玉利齊会長、藤岡秀樹理事、以下5名が参加、連盟宛に感謝状が贈呈された。
2008年12月23日(火)12:00~16:00

- (5) 平成20年度JBBF公認指導員認定講習会(予定)
宮城県 仙台国際センター 平成21年3月20日~22日

2. 国際事業

- (1) 2008年第1回アジアビーチゲームズ
開催日:2008年10月16日~22日 開催地:インドネシア共和国 バリ島
参加国数:23カ国 出場選手数:71名
- (2) 2008年第62回世界男子ボディビル選手権大会
開催日:2008年11月2日~7日 開催地:バーレーン マナーマ
参加国数:110カ国 出場選手数:189名
- (3) 2008年第28回世界ジュニア&マスターズボディビル選手権大会
開催日 2008年11月28日~12月1日 開催地:チェコ ピルゼン
参加国数:37カ国 出場選手数:223名
- 以上、第一号議案が報告され、全会一致で承認された。

【第二号議案】 平成21年度事業計画及び収支予算案について
別紙事業計画書及び収支予算のとおり承認

【第三号議案】 主催大会開催申請及び承認について

- (1) 2009年第13回日本クラス別ボディビル選手権大会の開催
2009年第1回日本クラシックボディビル選手権大会の開催
7月5日(日) 岡山県岡山市市民会館 (岡山県連盟)
- (2) 2009年第20回ジャパンオープンボディビル選手権大会の開催
2009年第26回ジャパンミックスドペアボディビル選手権大会の開催
9月6日(日) 大阪市エル大阪 (大阪連盟)
- (3) 2009年第17回日本女子チャレンジカップボディビル選手権大会の開催
2009年第9回ミス21健康美大会の開催
8月23日(日) 東京都品川区 きゅりあん(小ホール) (日本社会人連盟)
- (4) 2009年第14回オールジャパンミスフィットネス選手権大会の開催
2009年第3回オールジャパンミスボディフィットネス選手権大会の開催
8月2日(日) 茨城県笠間市パークガーデンプレイス (茨城県連盟)
- (5) 2009年第21回日本マスターズボディビル選手権大会の開催
9月20日(日) 東京都江戸川区 タワーホール船堀 (日本連盟マスターズ委員会)
- (6) 2009年第55回男子日本ボディビル選手権大会の開催
2009年第27回女子日本ボディビル選手権大会の開催
JOCジュニアオリンピックカップ2009年第21回日本ジュニアボディビル選手権大会の開催
2009年第4回全国高等学校ボディビル選手権大会の開催
10月12日(月祝) メルパルク東京(メルパルクホール) (日本連盟日本選手権実行委員会)

以上、第三号議案の申請は全会一致で承認された。尚、日本クラス別大会にクラシックボディビル大会を入れること、又日本マスターズ大会の男子カテゴリには75才以上級、また女子カテゴリに50才以上級を設けることが全会一致で承認された。

尚、以下の通り2010年の申請があったことが報告され、主管を希望する地方連盟は申請を3月までに提出の旨説明があった。

- (1) 2010年第21回ジャパンオープンボディビル選手権大会の開催
- (2) 2010年第27回ジャパンミックスドペアボディビル選手権大会の開催
8月下旬～9月上旬 (会場)未定 (愛知県連盟)
- (3) 2010年第14回日本クラス別ボディビル選手権大会の開催
7月25日 (東京連盟)
- (4) 2010年第22回日本マスターズボディビル選手権大会の開催
9月19日(日)

【第四号議案】 規程の改定について

- (1) 審査員特別昇級の資格について(公認審査員認定規程改定)
 - (2) 国際選手権と当該選手権への派遣選考について
(選手権大会実施規程改定、選手権大会実施規程改定)
 - (3) ドーピング実施規程の改定
 - (4) 諸費用規程の修正
 - (5) 選手登録規程の改定
- 以上、別紙の通り全会一致で承認された。

【第五号議案】 新規加盟クラブ及び退会クラブについて

1. 新規加盟クラブ なし
2. 退会クラブ
(1) 愛知県連盟 中京女子大学ボディビル同好会 坂本涼子代表 退会(解散の為)
以上、第五号議案が報告され、全会一致で承認された。

【その他】 運営に必要な事項の報告

1. 千葉県にて開催の関東クラス別選手権大会での審査員のペナルティについて
大会審査中に審査員(福島県)が途中退席したことに対し、2年間の審査員資格の停止、大会責任者で退席を認めた千葉県連盟理事長も、2年間の審査員資格の停止となったことが報告された。
2. クラシックボディビル選手権のJBBF開催予定について
2009年度日本クラス別選手権大会に併設実施する。アジア、世界大会への代表候補選手選考会として実施されることが全会一致で承認された。
3. ジュニア選手(愛知県)のドーピングテスト陽性対応について
選手資格停止処分は、JADAの規律パネル決定により平成20年11月22日より2年間。
本人、所属公認クラブ、所属県連についての罰則が規程通りに始末書提出と罰則金を科すことが承認された。尚、本人の成績(2位)、メダル、賞状、トロフィーは剥奪となり、他の選手の順位は理事会で執行部一任とされた。
総会終了後に執行部会で情報確認をした結果、そのカテゴリの入賞順位は、3位以下の選手全員がドーピングテストを受けていないので順位が繰上がらないことが決定したことを付記した。また、学連優勝者でもあり、学連がドーピングテストを行っていないので今後学連とドーピング問題を含め話し合い協調していくことが報告された。
4. 選手権大会でのJBBF公認トランクス及びビキニの着用について
21年度より男子及び女子の公式トランクスとビキニの着用について執行部一任となった。ま

た、公式トランクスとビキニの販売について体育とスポーツ出版社から申請があり、基本的に承認され、細部は執行部に一任されたことが報告された。総会終了後、女子も着用義務にするにはデザイン、色などの考慮を審査委員会に問い合わせが多く、21年度よりは男子はブロック大会と東西選手権で着用義務とし、地方大会では新規購入はなるべく公式トランクスにする。女子の公式ビキニについては、販売会社とデザイン、色などの打合せを行い、21年度からの着用は、新規購入はなるべく公式ビキニにするようになったことを付記した。尚、地方選手権の男子選手については22年度より着用義務とする。

5. 20年度マッスルフェスタについて

前回の理事会で谷野義弘選手がドーピング陽性選手の関係する他団体の大会であるマッスルフェスタの座談会に出席し、その会の内容が月刊ボディビル誌に掲載された。また日本連盟の許可なしでマッスルフェスタ代表の会社の商品広告に写真掲載されたことがあり処分保留となっていた。日本のボディビル競技大会で日本一になり、アジアの大会でも優勝をしているトップ選手の評価は、ボディビル競技の評価にもなることを本人に説明された。本人より今後誤解されるような行動はしないと回答があり、深く反省をしているので、いままでのことは不問に付す。今後このようなことがあれば厳重に対処することが報告された。

6. JOC選手強化本部長より特別通達について

スポーツ関係者の不祥事が起きていることでJOC選手強化本部長より特別通達が各競技団体あてに届いた。このままではスポーツの社会的信頼感が失われていくから、各連盟内でも再度注意を促すように下部組織に通達することとなった。

7. 東京連盟脱退クラブ年会費未払いについて

東京連盟所属であったM氏が平成18年19年の2年間に亘って公認クラブ登録費を支払わずに退会したので、再度請求督促を行ったが未だ入金されないと東京連盟より報告が前回の総会であり、来年3月(2009年)までに入金されなければ除名のペナルティも止むを得ずとの見解が出ていた。

このような問題の当事者M氏がルール違反のまま、千葉県連盟の役員会で会長職に就くことが報告された。日本連盟では認定クラブとしてペナルティの対象となり、代表者としての資格などの停止も視野に入れ、千葉県連盟会長職になる遠藤光男氏に事実を伝達する旨、千葉県代表正会員に伝えられた。

8. 健康日本21活動報告について(茨城県連盟)

平成20年10月26日に健康日本21推進全国連絡協議会の後援で、筋力トレーニング研究会を開催した。筋力トレーニングによりメタボリックシンドローム、生活習慣病特に糖尿病の改善効果があるのでボディビルを通して有効性を広げることの必要性が報告された。また、21年1月18日に競技力向上研究会に朝生選手強化委員長を講師として招いて実施したことが報告された。

(事務局連絡)

① 選手登録申込書の記載方法について

(1) 8ケタの登録番号を持っている選手は申込用紙に登録番号を記入徹底の依頼。

② 県連主催大会の賞状・楯依頼書について

(1) 賞状の枚数、大会名、カテゴリーの記入徹底の依頼。